

2023.3.11 | 土 |

13:00 ▶ 18:00 (12:45 開場)  
ZOOM によるオンライン開催

参加費  
無料



◀ 事前に左のフォームからご登録をお願い致します。  
<https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZlqce6gpjorGtEXTm1F0dyxJXUhyckcQqW>

登録締切 ▶ 2023年 3月10日(金) 正午

## 要旨

本研究会の目的は、法律、経済、芸術、宗教といった領域から、現地調査をもとに「不確実性 (uncertainty)」という概念と対話し、日々変化する確実性なき現代社会に新しい解釈を提供することです。身体・言語・倫理といったミクロのレベルから不確実性を検討する A・アバドウライの『不確実性の人類学』(2020年、原著は 2016年) の視点を共有し、裁判、賭け事、芸術品の競売、宗教実践について調査を行う若手研究者が発表します。また、人類学の多様な視点から現代社会の不確実性を検討し、理解を深めることを目指します。そのうえで人類学者の岸上伸啓氏(国立民族学博物館)、中川理氏(国立民族学博物館)、田中雅一氏(国際ファッション専門職大学)をコメンテーターに招き、議論を行います。

## プログラム

- 13:00-13:05 フィールドネットからの挨拶  
13:05-13:15 趣旨説明  
13:15-13:45 永井 文也(恵泉女学園大学 助教)  
権利の確実性を取り巻く不確実性  
—カナダ西部における先住民族の権利をめぐる交渉と和解を事例に  
13:45-13:50 質疑応答  
13:50-14:20 劉 振業(京都大学大学院 博士課程)  
不確実性との対話から排除される  
—マカオのカジノにおける東南アジア人労働者(「外労」)の事例から  
14:20-14:25 質疑応答  
..... 10分休憩 .....
- 14:35-15:05 張 詩雋(北京大学 PD 研究員)  
確実さなき北京芸術市場  
—オークション・ハウスの競売活動を事例に  
15:05-15:10 質疑応答  
15:10-15:40 川本 直美(岡山大学 客員研究員)  
聖なる存在と名前  
—メキシコ西部村落における聖像への呼びかけの実践から  
15:40-15:45 質疑応答  
..... 10分休憩 .....
- 15:55-16:15 コメント1 岸上 伸啓(国立民族学博物館 教授)  
16:15-16:35 コメント2 中川 理(国立民族学博物館 准教授)  
16:35-16:55 コメント3 田中 雅一(国際ファッション専門職大学 副学長  
京都大学 名誉教授)  
16:55-17:55 総合討論  
17:55-18:00 閉会の辞

法律・経済・芸術・宗教の現場から

# 対話する人類学 不確実性と